

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0（冗長化構成）現地作業手順書

安川情報システム株式会社

1. はじめに

1.1. 本書について

本書は、キitting済みの **NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）を現地で設置・テストを行う為の「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）現地作業手順書」と、その結果を記入する為の「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）現地作業レポート」から成ります。

本書の内容は、以下の機種に適応されます。

商品名	型式番号
NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0	NAHN810Z

1.2. 作業依頼内容

- チェック済みの「設定記入シート(Excel ファイル)」と、テスト用の「ネットワークチェックツール(VBS ファイル)」を事前にご準備ください。
設定記入シートと「ネットワークチェックツール」は以下のサイトよりダウンロードできます。
http://support.netshaker.com/faq/nrm10/dl/nrm10_parameter_sheet.zip
- 弊社より、**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**を 2 台お送りします。設定記入シートの内容及び、同梱物の確認をお願いします。
- 「設定記入シート」、「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** 設定マニュアル」、「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0** 冗長化構成設定マニュアル」等を参考にし、適切にキittingを行ってください。
ただし、**冗長化構成設定につきましては、現地で有効にするため、キitting時は無効にしてください。**
NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 2 台に対し、サーバの管理－システム設定－冗長化構成設定メニューで「冗長化構成を有効にする」のチェックを外している状態で本書記載の作業を行ってください。
- 現地作業時には、本書に加え、「設定記入シート」、「ネットワークチェックツール」をデータとして保存した通信テスト用 PC を準備してください。本書を参考に現地で作業を行い、その結果を「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）現地作業レポート」へ記入してください。
- 作業終了後、初期設置の場合は、「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）現地作業レポート」の FAX を指定の宛先（宛先については 8.2 をご参照ください）までお送りください。障害交換の場合は、障害機に「**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（冗長化構成）現地作業レポート」を添えて、指定の宛先までお送りください。
- 各テストにおいて問題が発生した場合、すみやかに「9 お問い合わせ先」にお問い合わせください。

2. 開梱および設置

2.1. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0の接続

本体同梱の「NetSHAKER シリーズハードウェアマニュアル」、「NetSHAKER 冗長化構成設定マニュアル」を参考にして、**NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0**（以降 **Red-Mail**とする）2 台を適切に接続してください。また、ネットワーク接続点は「設定記入シート」の構成図を参考にしてください。

<参考>

■プライマリサーバ

プライマリインターフェース(LAN1)	HUB 等に接続
セカンダリインターフェース(LAN2)	Red-Mail セカンダリサーバの LAN2 に接続
専用 UPS	Red-Mail と UPS のシリアルコネクタ(D-Sub 9pin)を、シリアルケーブルで接続。 UPS 付属の電源ケーブルのプラグをコンセント(商用電源)に接続。 Red-Mail 付属の電源ケーブルのプラグを UPS 背面の出力コンセントに接続。
冗長化構成	アクティブ機として動作。

■セカンダリサーバ

プライマリインターフェース(LAN1)	HUB 等に接続
セカンダリインターフェース(LAN2)	Red-Mail プライマリサーバの LAN2 に接続
専用 UPS	Red-Mail と UPS のシリアルコネクタ(D-Sub 9pin)を、シリアルケーブルで接続。 UPS 付属の電源ケーブルのプラグをコンセント(商用電源)に接続。 Red-Mail 付属の電源ケーブルのプラグを UPS 背面の出力コンセントに接続。
冗長化構成	スタンバイ機として動作。

※シリアル接続の際は、必ず UPS 付属のシリアルケーブルを使用してください。

※ アクティブ: 現在サービスを提供している状態のことを「アクティブ状態」と言います。

また、アクティブ状態の **Red-Mail** のことを「アクティブ機」と言います。

※ スタンバイ: 現在待機している状態のことを「スタンバイ状態」と言います。

また、スタンバイ状態の **Red-Mail** のことを「スタンバイ機」と言います。

⚠️ ご注意

Red-Mail プライマリサーバ、セカンダリサーバの冗長化構成は、必ず無効の状態で本書記載の作業を行ってください。

2.2. 電源の投入

Red-Mail プライマリサーバ、セカンダリサーバの電源ケーブルをコンセントに接続し、電源を投入してください。

3. 通信テスト用 PC の接続と設定

3.1. 通信テスト用 PC の接続

Red-Mail プライマリサーバ、セカンダリサーバのプライマリインターフェース (LAN1) と通信テスト用 PC を LAN ケーブルで接続してください。

3.2. 通信テスト用 PC の設定

事前に準備した「NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0（冗長化構成）現地作業レポート」を参考にして、通信テスト用 PC の IP アドレス、デフォルトゲートウェイ、DNS、ブラウザの設定をしてください。

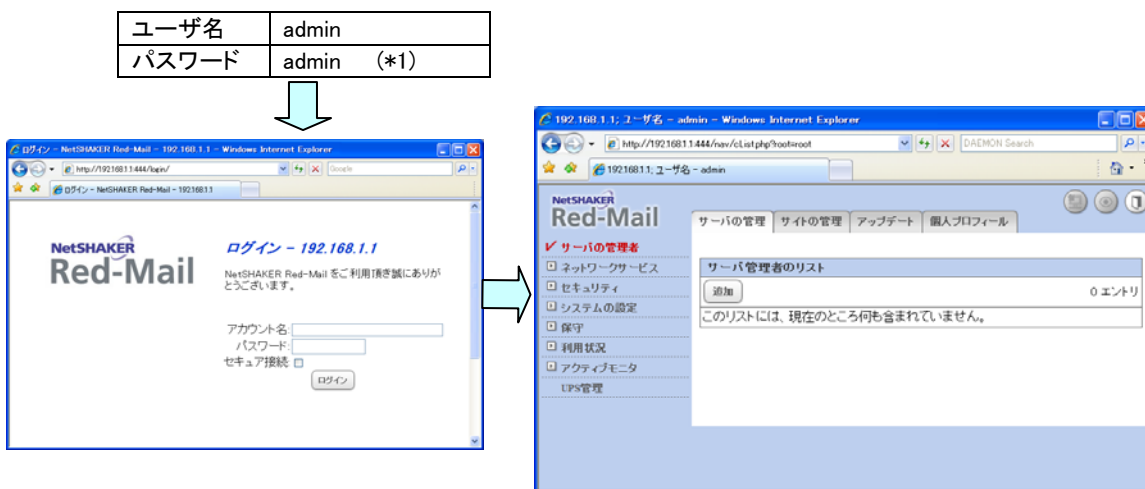
また、通信テスト用 PC には「設定記入シート」、「ネットワークチェックツール」がデータで保存されているものとします。

3.3. 管理画面へのアクセス確認

1. 通信テスト用 PC でブラウザを起動し、Red-Mail プライマリサーバ（アクティブ機）のプライマリインターフェース (LAN1) の IP アドレスとポート番号 444 を記述した URL を指定してください。

例) LAN1 の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合⇒ URL

2. Red-Mail プライマリサーバ（アクティブ機）との接続が確立すると、基本認証ダイアログが表示されます。以下の「ユーザ名」、「パスワード」を入力してください。認証が完了すると、以下のような画面が表示されます。



(*1) 初期状態のパスワードです。変更されている場合は、別紙「設定記入シート」で、お客様の設定をご確認ください。

4. UPS 動作テスト(オプションのみ)

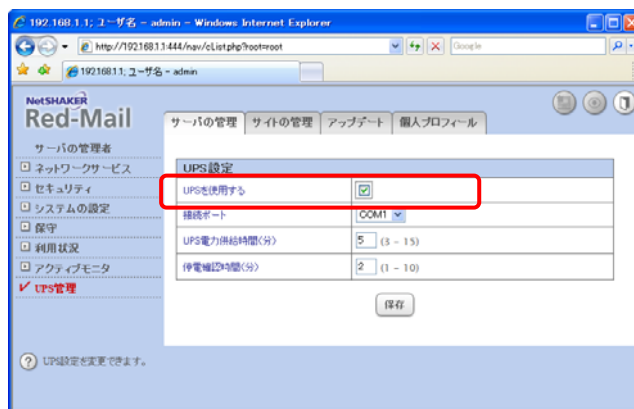
オプションでUPSが“あり”になっている場合にのみ、Red-Mailプライマリサーバ、セカンダリサーバに対して本テストを実施してください。不明な点がある場合は、BN100XR 同梱の取扱説明書を参照してください。

4.1. UPS 接続確認

- Red-Mailプライマリサーバ、セカンダリサーバにUPSのシリアルコネクタ(D-Sub 9pin)がシリアルケーブルで接続されている事を確認してください。※シリアル接続の際は、必ずUPS付属のシリアルケーブルを使用してください。
- Red-Mailプライマリサーバ、セカンダリサーバ付属の電源ケーブルのプラグがUPS背面の出力コンセントに、UPS付属の電源ケーブルのプラグがコンセント(商用電源)に接続されている事を確認してください。

4.2. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 の UPS 設定確認

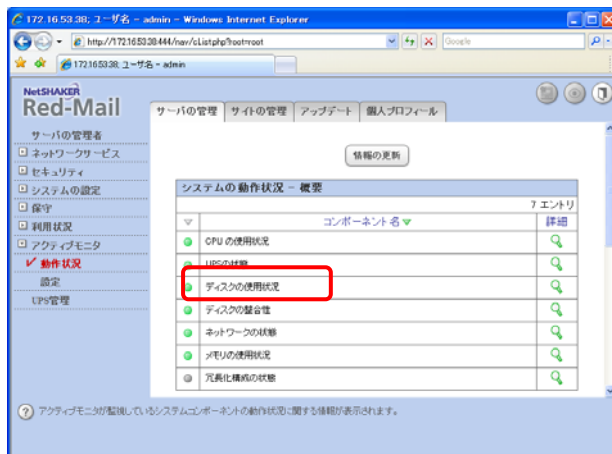
- Red-Mailプライマリサーバ、セカンダリサーバの設定画面で、**サーバの管理** — **UPS管理**メニューを選択し、「UPSを使用する」にチェックが入っていることを確認してください。また、「接続ポート」でCOM1が選択されていることを確認してください。(※重要！！)



4.3. NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 の UPS 稼働状況確認

- Red-Mailプライマリサーバ、セカンダリサーバの設定画面で、**サーバの管理** — **アクティブモニター** — **動作状況**メニューを選択してください。

「UPSの状態」を確認してください。状態表示ボタンの色が「緑」になっていれば問題ありません。

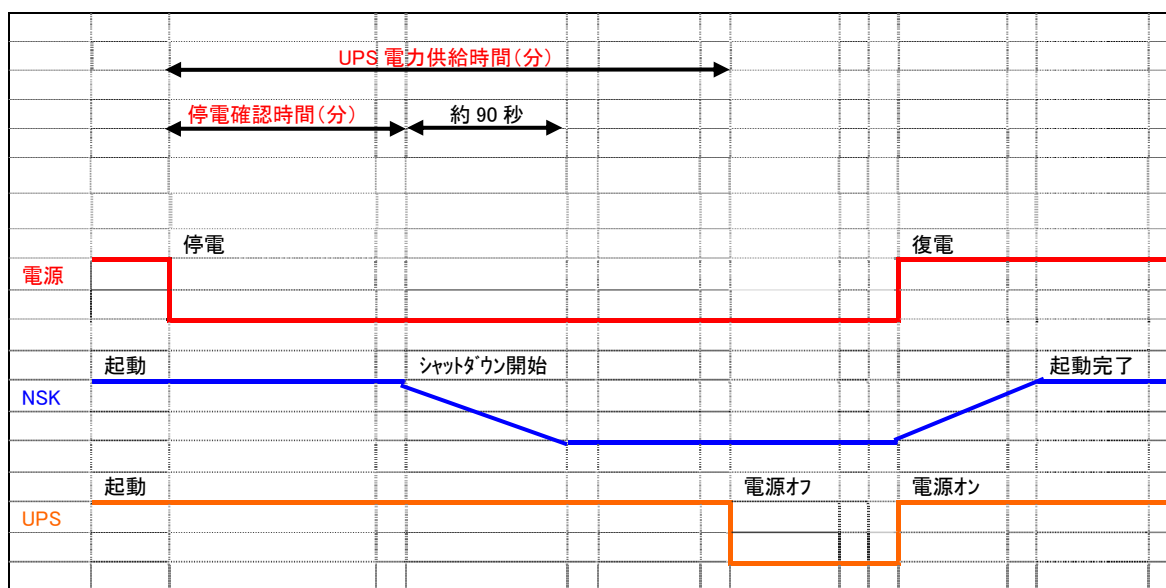


4.4. 自動シャットダウン確認テスト

1. UPS の電源ケーブルをコンセント(商用電源)から抜いて、擬似停電状態を発生させてください。その後、**Red-Mail** プライマリサーバ、セカンダリサーバが安全にシャットダウンされ、UPS の電源がオフ状態になる事を確認してください。
2. UPS 電源オフ後、UPS の電源ケーブルをコンセント(商用電源)に接続して、復電状態に戻してください。復電状態に戻った直後、**Red-Mail**プライマリサーバ、セカンダリサーバが自動起動する事を確認してください。

※ **Red-Mail**とUPS の動作の詳細については、以下のタイムチャートをご参照ください。

※ UPS 電力供給時間と、停電確認時間は、**サーバの管理** - **UPS 管理**メニューより設定できます。



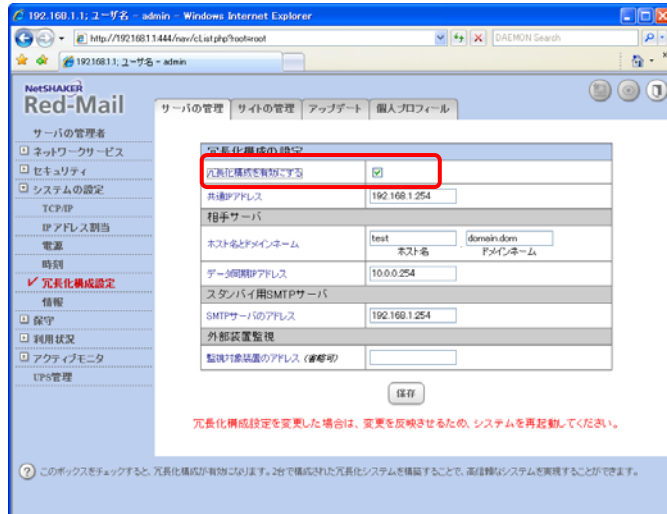
5. 冗長化構成の構築と状態確認テスト

5.1. Red-Mail プライマリサーバ(アクティブ機)の起動

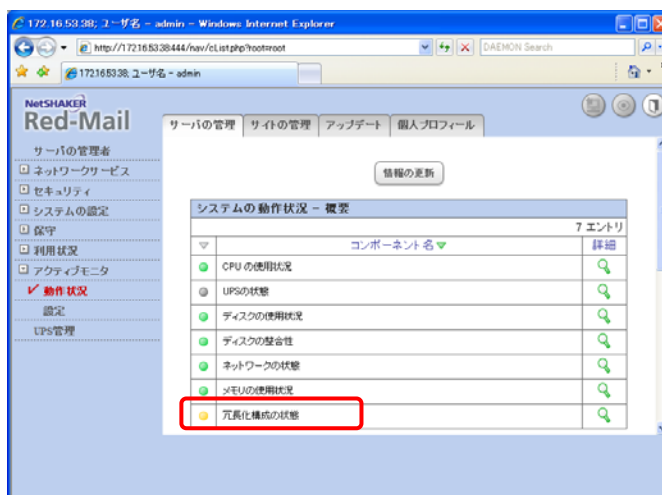
- Red-Mail プライマリサーバのみ起動します。Red-Mail セカンダリサーバが起動している場合は、シャットダウンしてください。（「7.5 システム終了と再起動(説明必須)」の方法でシャットダウンできます。）

5.2. Red-Mail プライマリサーバ(アクティブ機)の冗長化設定

1. Red-Mail プライマリサーバの設定画面で、**サーバの管理** — **システムの設定** — **冗長化構成設定** メニューを選択して、「冗長化構成を有効にする」にチェックを入れ、**保存** ボタンを押してください。



2. Red-Mail プライマリサーバを再起動してください。
「7.5 システム終了と再起動(説明必須)」の方法で再起動できます。
3. 再起動後、**サーバの管理** — **アクティブモニタ** — **動作状況** メニューを選択してください。
「冗長化構成の状態」を確認してください。状態表示ボタンの色が「黄」になっていれば問題ありません。
状態表示ボタンの色が「灰」の場合は、情報が更新されていないか、冗長化構成が有効になっていない可能性があります。

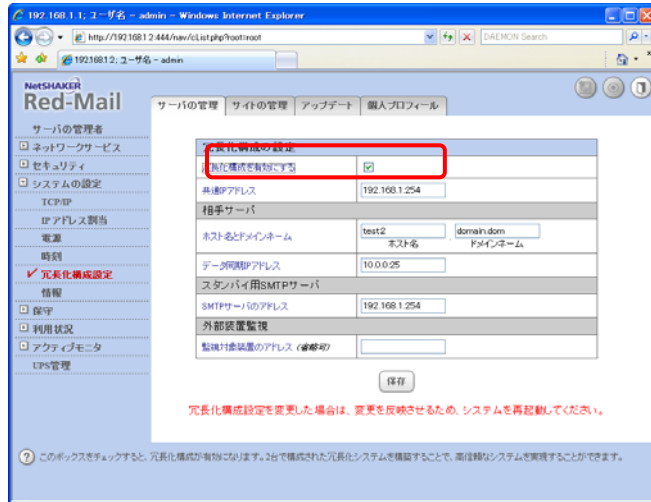


5.3. Red-Mail セカンダリサーバ(スタンバイ機)の起動

- Red-Mail セカンダリサーバを起動します。※Red-Mail プライマリサーバは起動しているものとします。

5.4. Red-Mail セカンダリサーバ(スタンバイ機)の冗長化設定

1. **Red-Mail** セカンダリサーバの設定画面で、**サーバの管理** — **システムの設定** — **冗長化構成設定** メニューを選択して、「冗長化構成を有効にする」にチェックを入れ、**保存** ボタンを押してください。



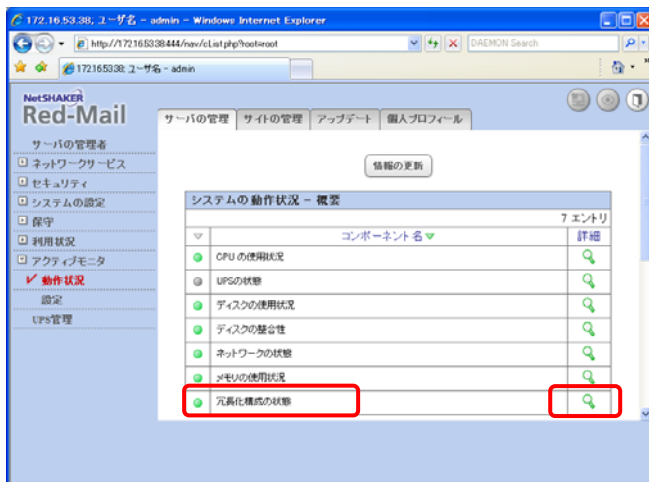
2. **Red-Mail** セカンダリサーバを再起動してください。
「7.5 システム終了と再起動(説明必須)」の方法で再起動できます。

5.5. Red-Mail 冗長化構成の状態確認テスト

1. **Red-Mail** プライマリサーバ、セカンダリサーバで冗長化構成の状態確認を行います。
2. **Red-Mail** プライマリサーバ、セカンダリサーバの設定画面で、**サーバの管理** — **アクティブモニター** — **動作状況** メニューを選択してください。

「冗長化構成の状態」を確認してください。状態表示ボタンの色が「緑」になっていれば問題ありません。

詳細 アイコンを押して、**Red-Mail** プライマリサーバ、セカンダリサーバの動作状況をご確認ください。



プライマリサーバ (アクティブ機)	表示(正常時参考)
現在の動作状況	冗長化構成機能は正しく動作しています。
稼動状態	アクティブで動作しています。
相手サーバ	相手サーバは起動中です。
同期状態	相手サーバと同期中です。

セカンダリサーバ (スタンバイ機)	表示(正常時参考)
現在の動作状況	冗長化構成機能は正しく動作しています。
稼動状態	スタンバイで動作しています。
相手サーバ	相手サーバは起動中です。
同期状態	相手サーバと同期中です。

6. ネットワークチェックツールによるテスト

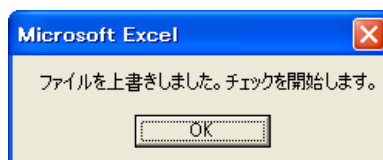
6.1. ネットワークチェックツールによるテスト

ネットワークチェックツールを使用して、PING テスト、DNS テスト、メールテストを行ないます。

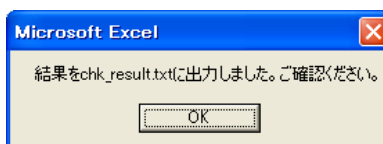
1. 「設定記入シート」を開き、「ネットワークチェックツール」シートにある[SMTP サーバを有効にする]が "Y" の場合は[動作検証用外側メールアドレス] にテストメールの受信を現場で確認できる宛先メールアドレス(携帯など)を記入してください。記入が終わりましたら、[チェックツール実行]ボタンを押してください。[SMTP サーバを有効にする]が"N"の場合は何も記入せずにそのまま[チェックツール実行]ボタンを押してください。(テストメールの送信テストは **Red-Mail** プライマリサーバ(アクティブ機)側のみ行われます。)

A	B	C	D
1	ネットワークチェックツール		
2			設定値
3	機器構成	アクティブ機(プライマリ)	Y
4		スタンバイ機(セカンダリ)	N
5	ネットワーク設定	IPアドレス(プライマリ/セカンダリ)	172.16.6.16
6		サブネットマスク(プライマリ/セカンダリ)	255.255.255.0
7		ホスト名/ドメインネーム	tkns.tkysknet.co.jp
8		共通IPアドレス	172.16.6.16
9	メール設定	DNSサーバ	0
10		SMTPサーバを有効にする	Y
11		SMTPサーバ動作ポート	25
12		動作検証用外部メールアドレス	hoda@ysknet.co.jp
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			

2. チェックツールを実行すると下記のメッセージが表示されますので[OK]ボタンを押してください。



3. 下記メッセージが表示されましたらテスト結果が出力されます。



4. 「設定記入シート」が保存されている場所に「chk_result.txt」というファイルが作成されていますので「chk_result.txt」を開いて一行目の「check start xxxx/xx/xx xx:xx:xx」から「check end xxxx/xx/xx xx:xx:xx」の間のテスト結果を確認してください。"NG"がありましたら「9 お問い合わせ先」にお問い合わせください。

```

check start 2009/10/07 11:04:15
ping check : OK
DNS check : OK
SMTP check : OK
check end 2009/10/07 11:04:25

```

5. **Red-Mail** プライマリサーバ(アクティブ機)側でチェックツールのメールテスト(SMTP)を行った場合は、手順「1.」で指定した[動作検証用外側メールアドレス]宛てにテストメールが届いていることをご確認ください。
※現地作業確認者が確認可能な携帯電話のメールアドレスなどを推奨いたします。

7. 基本操作説明（新規設置時のみ説明必要、障害交換時は説明の必要無し）

7.1. 基本操作説明

Red-Mailの設定、運用等は、すべて Web ベースの管理画面で行います。以下の管理画面の基本操作をユーザに説明してください。

下図を参考に該当する操作説明をしてください。

説明事項
7.2 管理画面へのアクセス方法(説明必須)
7.3 ユーザの登録
7.4 ユーザの削除
7.5 システム終了と再起動(説明必須)

7.2. 管理画面へのアクセス方法(説明必須)

- 通信テスト用 PC でブラウザを起動し、Red-Mailプライマリサーバ(アクティブ機)のプライマリインターフェース(LAN1)の IP アドレスとポート番号 444 を記述した URL を指定してください。

例) LAN1 の IP アドレスが 192.168.1.1 の場合⇒

URL	http://192.168.1.1:444/
-----	-------------------------

- Red-Mail プライマリサーバ(アクティブ機)との接続が確立すると、基本認証ダイアログが表示されます。以下の“ユーザ名”、“パスワード”を入力してください。認証が完了すると、以下のような画面が表示されます。

ユーザ名	admin
パスワード	admin (*1)

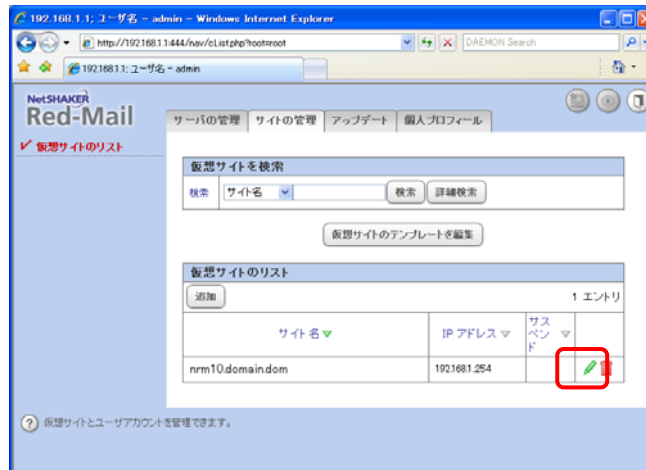
↓

(*1) 初期状態のパスワードです。変更されている場合は、別紙「設定記入シート」で、お客様の設定をご確認ください。

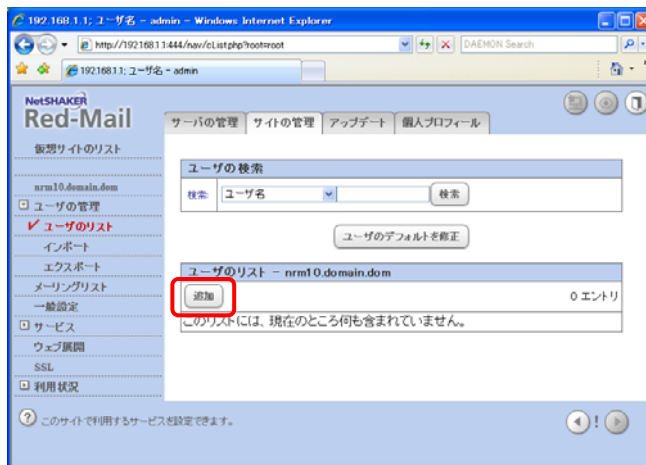
7.3. ユーザの登録

*この項目は、「メールサーバ機能を利用する場合」のみ実施してください。

1. Red-Mailプライマリサーバ（アクティブ機）上に仮想サイト「nrm10.domain.dom」が作成されているものとします。
2. **サイトの管理**で、「nrm10.domain.dom」の **修正** アイコンを押してください。



3. **ユーザの管理** — **ユーザのリスト** — **追加** を選択してください。



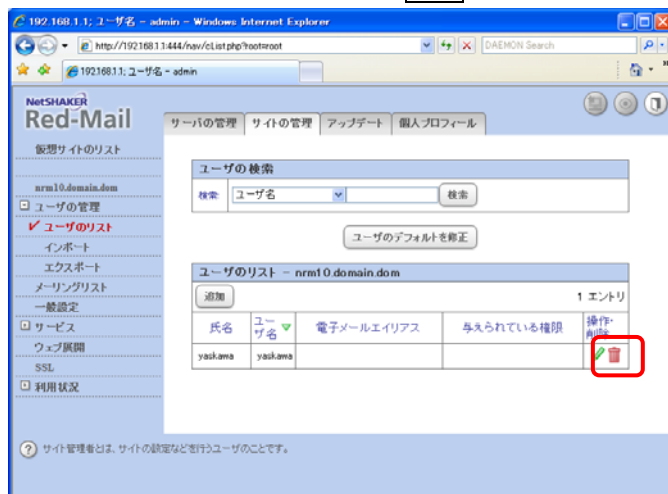
4. 必須の3項目“氏名”、“ユーザ名”、“パスワード”を入力し、**保存** ボタンを押してください。
以上でユーザ登録は完了です。

7.4. ユーザの削除

*この項目は、「メールサーバ機能を利用する場合」にのみ実施してください。

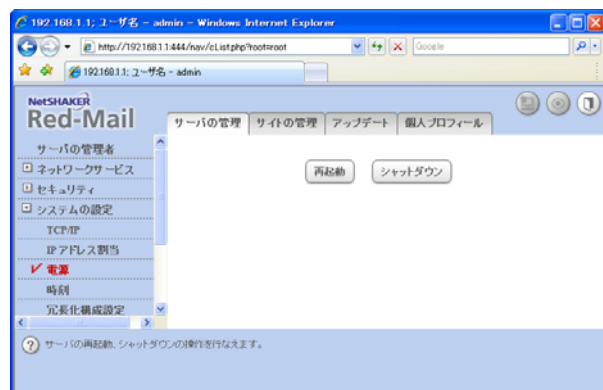
1. 「7.3 ユーザの登録」で登録したユーザの削除を行います。
2. **サイトの管理** で、「nrm10.domain.dom」の **修正** アイコンを押してください。

3. ユーザの管理 — ユーザのリスト メニューから、「7.3 ユーザの登録」で登録したユーザの削除アイコンをクリックしてください。確認画面でOK ボタンをクリックすると、該当ユーザが削除されます。



7.5. システム終了と再起動（説明必須）

1. Red-Mail プライマリサーバ（アクティブ機）の設定画面でサーバの管理 — システムの設定 — 電源メニューを選択すると、以下の様な画面が表示されますので、お客様に再起動またはシャットダウン（電源 OFF）は、ここから行っていただくよう説明してください。※説明のみ!!



⚠️ ご注意

説明のみ行ってください。冗長化構成が有効になってからは、再起動、シャットダウンは行わないでください。

8. 作業終了確認

8.1. レポート記入事項確認

以上の作業が完了したら、「NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0（冗長化構成）現地作業レポート」に記入漏れがない事をご確認ください。

8.2. 作業終了後

初期設置の場合は、レポートを下記のレポート送付先までお送りください。障害交換の場合は、レポートと障害機を、それぞれ下記の宛先までお送りください。

現地作業レポート送付先(FAX 又は送付)
〒806-0037 北九州市八幡西区東王子町 5-15 安川情報システム株式会社 NetSHAKERサポート担当者 宛 FAX (093) 622-6177

障害機返送先(上記レポート同梱にて送付)
〒806-0037 北九州市八幡西区東王子町 5-15 安川情報システム株式会社 NetSHAKERサポート担当者 宛 TEL (093) 622-6174 FAX (093) 622-6177

ご注意

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0(冗長化構成)現地作業レポートを、必ず、上記のレポート送付先まで FAX にてお送りください。

9. お問い合わせ先

9.1. お問い合わせ先

以上の作業にて不具合がありましたら、御社の NetSHAKER 技術担当者様へお問い合わせください。御社で問題が解決出来ない場合は、御社 NetSHAKER 技術担当者様から安川情報システム NetSHAKER サポート担当者へお問い合わせください。

御社の NetSHAKER 技術担当者様

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 (冗長化構成) 現地作業レポート (※送付必須)

作業情報			
エンドユーザー名			作業日
作業実施会社名			作業者名
初期設置	設置機器 S/N	設置 HDD1 S/N	設置 HDD2 S/N
	設置機器 S/N	設置 HDD1 S/N	設置 HDD2 S/N
障害交換	返却機器 S/N	返却 HDD1 S/N	返却 HDD2 S/N
通信テスト用 PC の設定			
ネットワーク	IP アドレス	サブネットマスク	
プロパティの設定	デフォルトゲートウェイ	DNS サーバ	
ブラウザの設定	PROXY サーバアドレス	ポート	
UPS 動作テスト(結果欄に○×を記入)			
操作項目			結果 備考
UPS 動作テスト(自動シャットダウン/自動起動) Red-Mail プライマリサーバ			
UPS 動作テスト(自動シャットダウン/自動起動) Red-Mail セカンダリサーバ			
冗長化構成状態確認テスト(結果欄に○×を記入)			
操作項目			結果 備考
Red-Mail プライマリサーバ冗長化構成状態確認(冗長化設定/アクティブ状態確認)			
Red-Mail セカンダリサーバ冗長化構成状態確認(冗長化設定/スタンバイ状態確認)			
ネットワークチェックツールによるテスト結果(結果欄に○×を記入)			
テスト項目			結果 備考
PING テスト			
DNS テスト			
SMTP テスト			
テストメールの受信テスト			
基本操作説明(結果欄に○×を記入)			
管理画面へのアクセス方法(説明必須)			
ユーザの登録			
ユーザの削除			
終了再起動(説明必須)			

作業確認	
お客様名(組織名)	承認印(サイン可)
ご担当者様名	

その他問題点等

このレポートの送付先は、FAX 093-622-6177 です。

返却機器がある場合は、FAX 送付後、本レポートを返却機器に同封して障害機返却先へ送付してください。